

創造都市施策推進調査研究事業について（報告）

1. 平成 26 年度の事業概要

(1) ユネスコ創造都市ネットワーク連携の促進

ユネスコ創造都市ネットワーク関係機関を訪問し、音楽創造都市を目指す本市の当該ネットワークへの貢献に向けたPRを行う。

ユネスコ事務局訪問

ユネスコ日本政府代表部訪問

(2) 他の創造都市との連携・交流についての調査研究

個別の創造都市との連携・交流に向けた取り組みを推進するための事業。

ボローニャ市との友好交流の促進

元フランス文化大臣ジャックラング氏との意見交換

2. 実施の状況

市長がユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野の加盟都市であるイタリア・ボローニャ市を訪問し、「浜松市とボローニャ市との音楽文化交流に関する覚書」を締結した。

あわせて、ユネスコ創造都市ネットワークの申請に係る関係者との調整のため、フランスのパリ市に所在するユネスコ本部を訪問し、音楽創造都市を目指す本市の当該ネットワークへの貢献に向けたPRを行った。

今回の訪問に当たっては、本市の創造都市アドバイザーである、元ユネスコ本部事務局長 松浦晃一郎氏に関係者との調整を依頼した。とりわけジャック・ラング氏との会談やユネスコ本部・ユネスコ日本政府代表部訪問に際しては、現地において実際に橋渡し役を務めていただいた。

(イタリア・ボローニャ市) 4月23日(水)

●ボローニャ市役所訪問

会談：ヴィルジーニオ・メーロラ氏（ボローニャ市長）

浜松市とボローニャ市との音楽文化交流に関する覚書の締結 ※覚書文面は別紙のとおり

(フランス・パリ市) 4月24日(木)、25日(金)

●元仏文化大臣との会談

会談：ジャック・ラング氏（元フランス文化大臣）

●在フランス日本国大使館訪問

会談：在フランス日本国大使館・特命全権大使 鈴木庸一

●ユネスコ本部訪問

会談：フランチェスコ・バンダリン氏（ユネスコ事務局次長・文化局長）

マウロ・ロッシ氏（ユネスコ事務局・創造都市担当）

●ユネスコ日本代表部訪問

会談：ユネスコ日本政府代表部・特命全権大使 門司健次郎

3. 事業実施の成果

(ボローニャ市との音楽文化交流)

2006年にユネスコ創造都市ネットワークに加盟したボローニャ市は、これまでも活発な活動を実施しネットワークの中でも重要な役割を担っている。今回、ボローニャ市と音楽文化都市交流を進める覚書を取り交わしたことは、今後、本市が国際的なネットワークの中で音楽創造都市としての存在感を高め、より効果的な創造都市政策・音楽政策を進めていく上で、重要なことである。

この覚書の締結をきっかけとして、今後、更に両市の交流を活発にし、相互理解を深め、幅広い分野での交流につなげていく。

また、今回の訪問によって8月に本市で開催する「浜松世界青少年音楽祭2014」に、ボローニャ市からも児童合唱団である「ピッコロ・コロ・アテナ」が参加することになった。

(ジャック・ラング氏との会談)

- ジャック・ラング氏には、本市の創造都市施策や地方都市における文化事業について、意見を交換した。本市の取り組みは大変素晴らしいものであると評価をいただき、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟採択に向けても協力をしていくとの言葉をいただいた。

(ユネスコ創造都市ネットワーク)

- 在フランス日本国大使館、ユネスコ日本政府代表部の両全権大使とは、創造都市をはじめとした地方自治体の都市間交流についての意見を交わし、さらなる交流の促進を薦められた。
- ユネスコ本部への訪問では、本部関係者と直接面談し、本市の創造都市に向けた取り組み状況と加盟実現後の抱負を伝え、楽器産業が集積するとともにUCLGなど多文化共生の取り組みを進める本市の加盟はユネスコにとっても非常に有意義なものであることをPRした。

参考1 各所の訪問状況

ボローニャ市との音楽文化交流に関する覚書の締結

ボローニャ市役所にて、音楽文化交流に関する覚書の締結、署名式を行った。

署名式では2月に来浜し楽器博物館でも公演を行ったオカリナ演奏団体であるゴブの皆さんの歓迎コンサートが開かれた。ボローニャのメーロラ市長からは「距離は離れていても産業面や音楽文化において類似性のある両都市の幅広い交流を期待する。」とのコメントをいただき、浜松市が8月に開催する世界青少年音楽祭への児童合唱団や音楽家の派遣を正式に発表いただいた。

なお、覚書は日本語、英語、イタリア語により作成され、ボローニャ市からは記念品としてオカリナが贈呈された。



(覚書の締結・メーロラ市長と)

元仏文化大臣 ジャック・ラング氏との会談

ミッテラン大統領当時の文化大臣としてルーブル美術館のガラスのピラミッドや新凱旋門の建築に尽力されたジャック・ラング氏（現アラブ世界研究所理事長）を訪問し、浜松市の音楽文化政策の紹介とユネスコ創造都市ネットワーク申請までの経緯を説明した。

文化政策の大家であり、夏至の日を「音楽祭典の日」と決め、フランス国民が心待ちにする文化行事の祝日として定着させた実績もあるジャック・ラング氏から浜松市の取り組みへ評価いただくとともに、ユネスコへの申請に係り必要な支援などご協力いただけることとなった。



(ジャック・ラング氏と)

在仏日本国大使館、ユネスコ日本政府代表部への訪問

在フランス日本国大使館、ユネスコ日本政府代表部へ訪問しユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野申請の報告とこれまでの支援に対するお礼を伝えるとともに、今後の取り組み方針についての意見交換を行った。

特に浜松市の多文化共生の取り組みを活かし、ユネスコ創造都市ネットワークにおいても音楽文化政策に文化的多様性の視点を取り入れた浜松らしい取り組みを期待するとのコメントをいただいた。



(ユネスコ日本政府代表部 門司特命全権大使と)

ユネスコ本部訪問と事務局との会談

ユネスコ本部を訪問し、事務局次長のフランチェスコ・バンダリン氏、マウロ・ロッシ氏と会談した。

浜松市長よりユネスコ創造都市ネットワーク申請に係るこれまでの助言・指導へのお礼やボローニャ市との音楽文化交流の締結などの報告をさせていただくとともに、音楽分野での加盟都市となった場合にどのような貢献が可能かPRを行った。



(フランチェスコ・バンダリン氏と)

参考2 浜松市とボローニャ市との音楽文化交流に関する覚書（写）



浜松市とボローニャ市との 音楽文化交流に関する覚書



日本国浜松市とイタリア共和国ボローニャ市は、互いの音楽文化を尊重しつつ、音楽事業や人材の交流を進め、もって両市の創造的な活動の活性化並びに世界の音楽文化の振興に協力して取り組むため、以下の内容に合意する。

- 一、両市は、西洋と東洋をつなぐ架け橋として、魅力ある音楽事業を通じた相互理解の促進に努める。
- 二、両市は、音楽に関する教育、学術、専門的人材の交流を進め、地域の創造的活動を促進し音楽文化の振興を図る。
- 三、両市は、音楽を愛する青少年の育成に向けて互いに協力し合い、次代の音楽文化を担う人材の育成に努める。
- 四、両市は、音楽に関わる産業分野の交流促進に努め、次代の音楽文化を支える創造産業の振興を図る。

本覚書は、署名した日から効力が生じ、有効期間は5年とする。ただし、両市の書面による同意により有効期間を更新することができるものとし、その後も同様とする。

本覚書は、2014年4月23日、ボローニャ市において日本語、イタリア語及び英語で各2部作成され署名される。いずれの言語も正文とするが、内容に疑義がある場合、英語版を優先する。

日本国 浜松市長
鈴木 康友

鈴木康友

イタリア共和国 ボローニャ市長
ヴィルジーニオ・メーロラ

Viginio Merola